望郷詩歌

奥の御所路

上京し 駆け抜け来たが幻か
老いてぞ知れる 郷はまほろば

親王心
射貫きし 北の御所の庭
春の高嶺に 雪ぞ残れり

学び舎の 廃校に暮れ 去る郷よ
県都通へる 駅近なれば

過疎の波 押し寄す郷の夕間暮れ
憂ふる胸に 風の冷たさ

国土軸 分割策で地方消ゆ
狭小 少子 街も国をも

朝もやの 湖面に春風冴えわたり
御所の古道に 廃都偲ばむ

清川史周

望郷詩歌写真集:「奥の御所路」－幻の鎮守府/奥州御所跡:御所湖/雫石川/日高見川界隈－

拡がる県都盛岡:岩山から雫石川や盛南地区,奥に幻の鎮守府・志波城,御所路の雫石盆地口,御所湖の朝霧を望む （撮影:2025/05/01 早朝）